

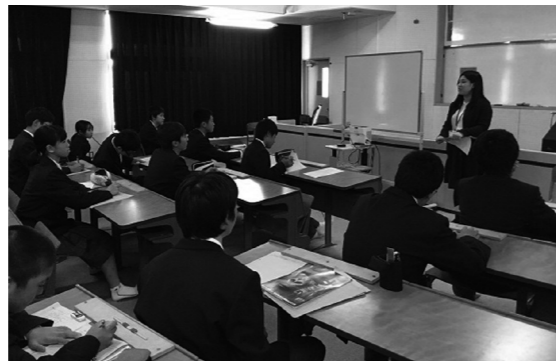
学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

大河原中学校

職業人に話を聴く会
志の道しるべに
11月27日、1学年は「職業人に話を聴く会」を実施しました。町内を中心に地域で活躍されている10名の皆さまに講師として来ていただきました。保育士、警察官、看護師、パティシエなど多方面の職種の方々から話を聞くことができました。

2つの職種（2名）の方の話を聞きました。「イメージしていた仕事の内容がでなく、見えないところが苦労していることが分かった。」「仕事をする中で、あいさつをはじめとするコミュニケーションの力が大事だと分かった。」などの感想があり、生徒たちには貴重な学びの場となりました。



金ヶ瀬中学校

生徒会説明会・部活動見学会
金小の6年生を招いて
11月28日、金ヶ瀬小学校の6年生を招いて、生徒会説明会および部活動見学会を開催しました。当日は中学校の授業の参観も行われ、多くの生徒がかつての自分たちの姿を思い返していました。

つて、初の大仕事となりました。中学校生活のようすを伝えるために、役員の生徒はリハーサルを行うなど入念に準備を進めていました。部活動の見学では、新入部員の獲得に向けて各部が熱心にアピールをしていました。少しづつ次年度に向けての準備が進んでいくことを実感させられる行事でした。



カフェでクリスマス

Cafe de Lien (オープンカフェリオン) スペシャルクリスマス

12月1日、大河原町社会福祉協議会のコミュニティカフェ「リアン」で、スペシャルクリスマスが開催されました。訪れた地域の皆さんは、クリスマスのオーナメントなどが飾りつけられたカフェで、のんびりコーヒーやケーキなどを味わいながら、金ヶ瀬中学校吹奏楽部のコンサートや大河原中学校科学部のサイエンスショーなどを観賞し、一足早いクリスマスを満喫しました。



生の演奏で会場に花を添えた金中吹奏楽部。



科学実験でおなじみの空気砲を披露する大中科学部。

大河原中学校科学部は、平成30年12月7日～9日に開催された「第6回科学の甲子園ジュニア全国大会」において、各都道府県代表の強豪校を抑え、宮城県仙台二華中学校との合同チームで総合成績第4位に入賞しました。

笑顔いっぱいのクリスマス 大河原町手をつなぐ親と教師の会クリスマス会

12月16日、大河原町の障がいがある子どもたちとその家族のかたを対象に、「大河原町手をつなぐ親と教師の会クリスマス会」がオーガ2階イベントホールで開催されました。オープニングでは、ハンドベルサークル「ドリーム・リングーズ」の演奏によるクリスマスソング3曲が披露され、会場は一気にクリスマスモードに包まれました。その後、玉入れやフルーツバスケットなどのゲームで会場は大盛り上がり。最後はみんなでお楽しみのクリスマスケーキやパンなどを食べ、お腹も心もいっぱい、笑顔いっぱいのクリスマス会になりました。



▲オープニングを飾った「ドリーム・リングーズ」、▲じゃんけん王は誰だ?じゃんけん勝ち抜きゲーム。

町民の声

おたより
ご紹介

○文化財友の会秋の旅に参加して

11月9日「文化財友の会」の秋の日帰り旅行が総勢42名の参加のもと、開催されました。車中では、関係者のご挨拶の後、沿線ガイドや見学先の事前研修があり、皆さま熱心に勉強をされていました。また、お茶等の差し入れもあつて、車内は終始和気あいあとした雰囲気でした。訪問先は郡山方面で、先ず、大安場史跡公園。東北一の前方後方一号墳とガイダンス施設を見学しました。古墳に登ると、郡山市内の全景が見渡せて、明治以前にもこの地に素晴らしい歴史があつたことがわかりました。

食事は「ぶりとま」と(旧三春ハーブ花ガーデン)での、自然食バイキングで、そこの食事はインターネットで評判どおりの美味しさでした。開成山公園近くの安積歴史博物館は明治22年建築の木造洋風建築物。現在も講堂などが、安積高等学校で使用されています。開成館は明治7年に建てられた擬洋風建築物。郡山開拓の中心的建物で、明治天皇東北行幸の際には宿泊所・昼食会場となりました。安積開拓の資料の展示に利用されていました。前述の博物館共々、郡山の人々の歴史を大事にするという心意気が伝わりました。

見学箇所では、ボランティアガイドによる詳しい説明もあり、大変充実した一日を過ごさせていただきました。来年5月末頃の友の会一泊旅行には、皆さまもぜひ参加されますことをお勧めいたします。
橋本毅さん(末広区)

暗唱大好き

南小編

めざせ暗唱名人！2

11月21日に第3回の暗唱朝会を行い、3年生と4年生が発表しました。一生懸命に暗唱の練習に取り組み、本番に臨みました。今回は、「3年は「年めぐり」と俳句、4年は「ほくは何を」を暗唱しました。どちらの学年も、9月に引き続き2度目の暗唱発表でしたが、1回目比べて声の大きさ、口の開け方、読む速さなど、格段に上達し披露することができました。



最初から最後まで通して一斉に暗唱するのではなく、ある部分は読むパートを分担して掛け合いのようにしたり、ある部分は全員で声を合わせて力強く言ったりして変化をつける工夫をし、単調にならずに作品のよさを聞く人に印象づけることができました。毎日の暗唱練習の積み重ねが着実に身に付いているので、これからも練習を続けていきたいと思えます。